

はばたけ!のゝ市人

～野々市町から全国へ、世界へ～

FM-N1では、野々市町の行政広報番組「マイタウンのいち」を、月曜日から土曜日まで毎日放送しています。土曜日の番組(土曜午前11時～正午)では、「はばたけ!のゝ市人」と題して、町に在住、または、ゆかりの各界で活躍する方々を紹介しています。「のゝ市人」とは、中世、この地に立ち寄っ

た修験僧で歌人の聖護院道興が詠んだ歌に記された言葉です。

「一流」の本来の意味は、「他がまねをできない独自の存在」、今の言葉で言うとオンリーワンです。必ずしも一番や頂上を目指すのではなく、独自のスタイルと存在を貫く「のゝ市人のオンリーワン」を紙面で再録します。

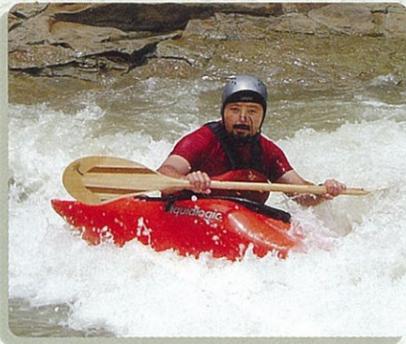


安定した農業研究所員を辞して花卉栽培農家の道を 福田 康浩さん(中林3丁目・45歳)

「人」口が増え続ける地球全体が、今の日本のように豊かな生活をする、と地球は壊れてしまします。収入は少なくてもハッピーに暮らせると思、安定した公務員から転身しました。

「人」口が増え続ける地球全体が、今の日本のように豊かな生活をする、と地球は壊れてしまします。収入は少なくてもハッピーに暮らせると思、安定した公務員から転身しました。

「人」口が増え続ける地球全体が、今の日本のように豊かな生活をする、と地球は壊れてしまします。収入は少なくてもハッピーに暮らせると思、安定した公務員から転身しました。

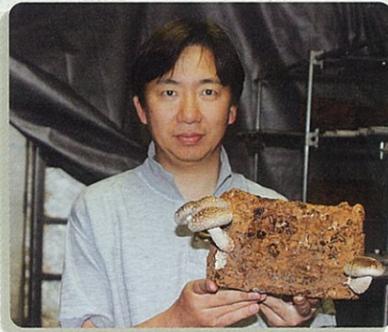


カヤック競技世界ランク6位。一度は頂点に立ちたい 石原 亨さん(中林2丁目・36歳)

カヤック競技には、いろいろな部門があります。その中で、カヤックを回転して乗り手が水の中につかっただけに戻り、その技の正確さや姿の美しさを競う競技が「スクオート部門」です。

石原亨さんは、このスクオート部門で昨年の世界ランキング6位、最高で2位にまでなった実力者です。あいにくオリンピックに挑戦できなかった。

石原さんがカヤックを始めたのは二十歳のときでした。金沢市郊外の倉ヶ岳にある小さな湖で教室が開かれ、それに参加したことがきっかけでした。



脱サラUターン、町でただ一人のシイタケ栽培農家に 安原 透さん(郷町・46歳)

背 広姿の安原透さんに初めて会ったとき、どこかの大きな会社のサラリーマンかと思いました。それもそのはず、十数年、薬品会社で働き、背広姿が今も板に付いているからでしょう。

しかも野々市町ではただ一人という挑戦でした。「昔から山を歩いて山菜取りをするのが好きで、なんとなくやろうと思いました。幸い、実家には田んぼがたくさんありましたから。」

サラリーマン時代に知り合っ結婚した美由紀さんも賛成してくれました。実家に隣接する自宅の裏にビニールハウスを3棟建て、夫婦二人三脚で栽培を始めました。

梧桐書院は野々市町5万人市制を応援しています

日本の縮図か? 夕張は

限界自治 夕張検証

女性記者が追った600日 読売新聞北海道支社夕張支局・編著

各種メディアで大反響!!

- 「夕張ものノンフィクションの中では最も読みごたえのある好著」(作家 佐々木譲『警官の血』ほか)産経新聞4/23
- 「推理小説のような怖さを持って迫ってくる」(週刊ポスト5/16号)
- 「『危ない自治体』が反面教師にすべき一冊」(SPA! 4/29.5/16号)
- 「『夕張問題』をさまざまな角度から検証した貴重な記録」(週刊東洋経済5/17号)
- 「夕張問題を解決出来なければ地方に未来はない」(月刊カバナス4月号)
- 「全国のらつ腕首長よ、夕張を忘れるなかれ!」(週刊ダイヤモンド4/26特大号)

あの橋下大阪府知事がテレビで「限界自治夕張検証」を!...

テレビ朝日系列の「ワイド・スクランブル」で、知事デスクにあった本書がアップで取り上げられた。「大阪もこうならないように、よくしっかりみておかないとね」とコメント。

「限界自治夕張検証」刊行記念 「読者懸賞ミニ論文」募集中!

【テーマ】わが街を考える「第二の夕張」を回避するために

最優秀(1人)賞金20万円+夕張市ご招待
優秀(2人)賞金5万円 佳作(10人)記念品贈呈

梧桐書院
URL <http://510books.fc2web.com/>
☎03-5825-3620

献血者5年連続で 1千名を達成 県内で初の快挙



金沢工業大学の学友会における年間の献血者数が、5年連続で1千名を達成し、石川県赤十字血液センターから感謝状が贈呈された。学友会では、昭和48年から、約35年間にわたり、献血事業に協力をしており、近年では平成15年から5年間連続で1千名以上が献血に協力している。

大学や事業所などの一単位で年間1千名以上の献血者は県内では金沢工大だけとのこと。また、昨年からは、工大祭でも献血キャンペーンを実施し、工大生だけでなく、地域住民、卒業生の協力も得ている。献血に協力した学生らは「自分の血液で人が助かればうれしい。今後とも継続して献血に協力したい」と語っていた。



春風の中、清掃活動

金沢高専が今年も奉仕活動を実施

4月25日(金)、金沢工業高等専門学校の恒例の行事である奉仕活動が全学生と教職員によって行われた。これは、学内だけではなく周辺の高橋川沿い、公園等のゴミ拾いや草むしりを行っているもの。さわやかな春風が吹く中、普段お世話になっている高橋町及び久安地区に対する感謝の心を持っての、清掃活動が実施された。



地域の方々と共に

安全・安心の街づくりを目指して 今年も防犯パトロールをスタート

学友会が平成14年から実施している、学生らによる自主防犯パトロール隊「イーグル・セーフティー・プロジェクト・チーム」の20年度の出発式が4月11日実施された。この防犯パトロールは、大学と野々市町、警察署が協力し、4月から12月までは毎月2回、1月から3月は毎月1回、夜間の大学

周辺を約40分間かけてパトロールしているもの。出発式では、学生代表から「犯罪のない明るい街を実現することは、地域住民のみならず私たち学生の共通の願い。安全と安心の街づくりに今年も協力していきたい」と宣言文を読み上げ、小雨の振る中、パトロールに出発した。

学生を元気にさせる大学。

K. I. T.

金沢工業大学

KIT(ケイアイティ)は金沢工業大学のBrand Nameです。

文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」採択校/
文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」選定校/
大学基準協会「大学基準適合」認定校

〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1
TEL (076) 248-1100
<http://www.kanazawa-it.ac.jp/>